

令和3年度 事業計画

公益財団法人 熊本県総合保健センター

令和3年度 事業計画

1 経営方針

令和2年度に策定した経営理念及び経営計画に基づき第1期収支計画達成のために基本戦略及び事業戦略を策定し、各部事業を推進する。

また、中長期ビジョンの実現を目指し、熊本県民の皆様の健康づくりに寄与できるよう事業を推進する。

2 収支計画(単位:百万)

事業活動収入	2,275
内訳 巡回健診	1,331
施設健診	829
受託・その他	104
事業活動支出	1,985
内訳 巡回健診	1,222
施設健診	763
収支差額	290
新施設取得積立	150 (累計920)
施設整備積立	60 (累計630)

3 基本戦略

今年度は中長期経営計画第1期の2年目となる。4つの基本戦略については継続的に取り組み、経営会議等で進捗管理を行い、経営計画第1期の目標である経営基盤確立を目指す。

(1) 生産性向上

①ICT・AI推進活用

- 健診に係わる予約・結果システムのWeb化
- 巡回健診システムにおけるデータ収集システムの再構築
- 携帯デバイスを使用した会議システム構築

②標準化計画

- 新健診システムに対応したマニュアル改訂

- 全所属における現行業務マニュアルの作成
 - ・マニュアル標準フォーマット作成
- ③業務改善の制度化
 - 改善提案の制度化
 - ・改善目標の設定と実績報告
- ④定員管理・採用計画策定
 - 新健診システム導入による業務効率化
 - ・定員管理計画及び採用計画の策定
 - 施設受付業務のアウトソーシング化

(2) 人材力強化

- ①人材育成計画策定
 - 階層別業務能力の基準設定及び育成計画の策定
 - 多能工化
 - ・業務ローテーションの徹底
 - ・人事異動方針の徹底
 - 外部研修後の復命講義のルール化
- ②人事評価制度の再構築
 - 階層別業務能力基準に応じた評価制度の策定
 - 目標設定および評価研修の実施

(3) 組織風土改革

- ①公益事業の再構築
 - 健診データ分析に基づく活用方法の策定
 - ・データ分析に基づく課題把握
 - ・行政、大学等との連携した健診データ分析
- ②意識改革
 - 責任執行体制づくり
 - ・部門毎の収支管理体制の構築
 - ・経営計画の推進体制構築

- 健康経営の推進
 - ・健康目標の達成
(喫煙率0%、精検受診率100%)
 - ・くまもと健康企業会を通じた健康経営推進活動強化
- ③市民病院等との連携
 - 連携可能分野の協議

(4) コンプライアンス

- ①不祥事防止対策
 - 内部監査制度の導入
 - ・チェック体制の強化及びルール化
- ②予算・物品管理の強化
 - 発注・納品管理の徹底
 - 発注先の固定化防止
- ③労務管理の適正化
 - 変形労働時間導入の検討及び各種規程見直し
- ④経理管理の適正化
 - 出張の基準策定

4 事業戦略

経営計画第1期収支目標を達成するために、事業部門毎に戦略進捗担当者を明確にし、昨年度未達成の一部と新規戦略策定で目標を掲げ、達成に向け実行する。

(1) 巡回健診部戦略

- ①健診計画の平準化
 - 閑散期対策、業務効率化を考慮した健診の見直し、健診年間計画見直し
- ②新たな検査の導入
 - 婦人科LBC及びHPV検査導入に向けての事前調査及びデモ等の実施
- ③業務効率化
 - 職員の多能工化実施

④健診システムの見直し

○次期健診システム構築（令和5年度更新予定）

⑤医師確保

○ICT活用の検討

・遠隔読影の拡大

(2) 施設健診部戦略

①健診収入の増収

○午後の健診枠の活用

○新規検査導入

○保健指導の充実

②業務効率化

○ICT導入に向けての検討

○業務のアウトソーシング化

(3) 健康管理部戦略

①新健診システムの安定稼働

○新システム移行による支障への早急な対応

②健診データ活用

○コンソーシアム事業成果の活用

○健診データ分析結果のマーケティングの活用

③健康教育の実施

○職員への健康教育の実施

④ICT活用

○ICTを活用した特定保健指導の定着、拡大

⑤産業保健活動の推進

○協会けんぽの特定保健指導強化

⑥精密検査受診率向上

○受診勧奨方法改訂後の評価及び改善

5 新施設建設計画の策定

新施設建設については、今年度中にプロジェクトを中心に、新施設建設基本構想を策定する。

6 経営計画の推進体制

経営計画に基づく基本戦略・事業戦略の進捗管理を行うため、経営計画進捗担当者を置く。

7 保健事業実施計画

令和3年度に実施する保健事業は、主に「地域保健」、「職域保健」、「学校保健」の3つに分けられ、それぞれの保健事業の健診実施形態における実施計画数は、以下のとおりである。

(1) 巡回健診

① 地域保健

単位：人

健（検）診項目	令和3年度 計画 A	令和2年度 計画 B	増減 (A - B)	増減率	令和元年度 実績
特定健康診査	24,060	24,200	△140	99.4%	24,227
ふるさと総合健診	9,200	9,200	0	100.0%	9,174
胃がん検診	15,700	16,400	△700	95.7%	17,102
子宮頸がん検診	14,600	15,100	△500	96.7%	15,137
乳がん検診	21,000	21,100	△100	99.5%	21,210
肺がん検診	37,500	37,200	300	100.8%	38,442
大腸がん検診	22,500	21,500	1,000	104.7%	21,735
結核検診	44,000	43,500	500	101.1%	44,558
骨粗鬆症検診	7,500	7,900	△400	94.9%	8,179
腹部超音波検診	33,500	33,700	△200	99.4%	33,525
前立腺がん検診	8,100	8,200	△100	98.8%	8,294
肝炎ウイルス検査	1,500	1,500	0	100.0%	1,530
合計	239,160	239,500	△340	99.9%	243,113

② 職域保健

単位：人

健（検）診項目	令和3年度 計画 A	令和2年度 計画 B	増減 (A - B)	増減率	令和元年度 実績
定期Aコース	4,500	4,400	100	102.3%	4,618
定期Bコース	14,500	14,300	200	101.4%	14,605
生活習慣病予防コース	2,000	2,000	0	100.0%	2,070
協会健保（一般）	4,300	4,300	0	100.0%	4,380
特殊健診	8,400	7,800	600	107.7%	8,182
特定健康診査	1,800	1,800	0	100.0%	1,844
結核検診	6,300	6,400	△100	98.4%	6,298
胃がん検診	750	900	△150	83.3%	932
子宮頸がん検診	450	300	150	150.0%	365
乳がん検診	350	300	50	116.7%	407
大腸がん検診	3,800	3,500	300	108.6%	4,041
腹部超音波検診	1,500	1,500	0	100.0%	1,517
ストレスチェック	6,200	6,400	△200	96.9%	6,000
合計	54,850	53,900	950	101.8%	55,259

③ 学校保健

【1】教職員

単位：人

健（検）診項目	令和3年度 計画 A	令和2年度 計画 B	増減 (A－B)	増減率	令和元年度 実績
結核検診	5,700	5,700	0	100.0%	6,638
結核検診（精密）	0	0	0	0.0%	60
胃がん検診	3,300	3,400	△100	97.1%	3,266
合計	9,000	9,100	△100	98.9%	9,964

【2】学生

単位：人

健（検）診項目	令和3年度 計画 A	令和2年度 計画 B	増減 (A－B)	増減率	令和元年度 実績
結核検診	11,000	11,000	0	100.0%	10,929
結核検診（精密）	0	0	0	0.0%	17
尿・心電図・貧血・診察	3,000	3,100	△100	96.8%	3,130
合計	14,000	14,100	△100	99.3%	14,076

～ 巡回健診 各健（検）診 実施計画合計 ～

単位：人

巡回健（検）診	令和3年度 計画 A	令和2年度 計画 B	増減 (A－B)	増減率	令和元年度 実績
合計	317,010	316,600	410	100.1%	325,043
ストレスチェック除く合計	310,810	310,200	610	100.2%	317,637

(2) 施設健診

① 地域保健

単位：人

健（検）診項目	令和3年度 計画 A	令和2年度 計画 B	増減 (A - B)	増減率	令和元年度 実績
特定健康診査	2,000	2,000	0	100.0%	2,092
日帰りドック等	1,000	900	100	111.1%	1,018
胃がん検診	1,600	1,600	0	100.0%	1,590
子宮頸がん検診	1,900	1,900	0	100.0%	1,849
乳がん検診	2,400	2,400	0	100.0%	2,407
肺がん検診	2,300	2,300	0	100.0%	2,320
大腸がん検診	2,000	2,000	0	100.0%	1,984
結核検診	1,700	1,700	0	100.0%	2,262
骨粗鬆症検診	100	100	0	100.0%	25
前立腺がん検診	110	100	10	110.0%	127
肝炎ウイルス検査	100	100	0	100.0%	34
合計	15,210	15,100	110	100.7%	15,708

② 職域保健

定期Aコース	700	700	0	100.0%	537
定期Bコース	7,400	7,500	△100	98.7%	7,718
生活習慣病予防コース	3,300	3,600	△300	91.7%	3,568
協会健保（一般）	9,900	8,800	1,100	112.5%	9,176
協会健保（ドック）	1,700	1,700	0	100.0%	1,777
各種人間ドック	3,900	3,800	100	102.6%	4,045
特殊健診	1,600	1,600	0	100.0%	1,597
特定健康診査	1,000	900	100	111.1%	891
胃がん検診	800	800	0	100.0%	823
子宮頸がん検診	4,500	4,500	0	100.0%	4,506
乳がん検診	5,300	5,300	0	100.0%	5,361
大腸がん検診	850	800	50	106.3%	771
腹部超音波検診	1,500	1,500	0	100.0%	1,474
ストレスチェック	3,100	3,100	0	100.0%	4,337
合計	45,550	44,600	950	102.1%	46,581

③ 学校保健

【1】学生

単位：人

健（検）診項目	令和3年度 計画 A	令和2年度 計画 B	増減 (A - B)	増減率	令和元年度 実績
ツベルクリン反応・BCG	0	0	0	0.0%	0
合計	0	0	0	0.0%	0

～ 施設健診 各健（検）診 実施計画合計 ～

単位：人

施設健（検）診	令和3年度 計画 A	令和2年度 計画 B	増減 (A - B)	増減率	令和元年度 実績
合計	60,760	59,700	1,060	101.8%	62,289
ストレスチェック除く合計	57,660	56,600	1,060	101.9%	57,952

(3) 保健事業合計

～ 実施計画総合計 ～

総合計	令和3年度 計画 A	令和2年度 計画 B	増減 (A - B)	増減率	令和元年度 実績
	377,770	376,300	1,470	100.4%	387,332
ストレスチェック除く合計	368,470	366,800	1,670	100.5%	375,589

～ 「地域・職域・学校」 各健（検）診 実施計画合計 ～

単位：人

地域保健	令和3年度 計画 A	令和2年度 計画 B	増減 (A - B)	増減率	令和元年度 実績
合計	254,370	254,600	△230	99.9%	258,821

職域保健	令和3年度 計画 A	令和2年度 計画 B	増減 (A - B)	増減率	令和元年度 実績
合計	100,400	98,500	1,900	101.9%	101,840

(4) 特定保健指導

特定保健指導は、センターが実施する健康診断の受診者に対して行う保健事業である。健診受診後の生活習慣改善につなげるための重要な事業である。

保健師、管理栄養士が、センター施設内及び各地域へ出向き実施する。

① 地域 巡回

単位：人

特定保健指導項目	令和3年度 計画 A	令和2年度 計画 B	増減 (A-B)	増減率	令和元年度 実績
動機付け支援	690	710	△20	97.2%	696
積極的支援	160	160	0	100.0%	160
合計	850	870	△20	97.7%	856

② 地域 施設

単位：人

特定保健指導項目	令和3年度 計画 A	令和2年度 計画 B	増減 (A-B)	増減率	令和元年度 実績
動機付け支援	60	50	10	120.0%	56
積極的支援	15	10	5	150.0%	14
合計	75	60	15	125.0%	70

③ 職域 巡回

単位：人

特定保健指導項目	令和3年度 計画 A	令和2年度 計画 B	増減 (A-B)	増減率	令和元年度 実績
動機付け支援	80	90	△10	88.9%	37
積極的支援	190	160	30	118.8%	100
合計	270	250	20	108.0%	137

④ 職域 施設

単位：人

特定保健指導項目	令和3年度 計画 A	令和2年度 計画 B	増減 (A-B)	増減率	令和元年度 実績
動機付け支援	320	250	70	128.0%	260
積極的支援	620	430	190	144.2%	427
合計	940	680	260	138.2%	687

～ 特定保健指導 実施計画合計 ～

単位：人

特定保健指導項目	令和3年度 計画 A	令和2年度 計画 B	増減 (A-B)	増減率	令和元年度 実績
動機付け支援	1,150	1,100	50	104.5%	1,049
積極的支援	985	760	225	129.6%	701
合計	2,135	1,860	275	114.8%	1,750

8 産業保健活動

令和元年 4 月に施行された働き方改革関連法により、産業医・産業保健機能が強化されている。それに伴い当センターにおいても、産業保健サービス専門機関と業務提携を行うことにより、産業医（業務提携含む）を受託している 41 事業場に対して、労働安全衛生規則に沿った産業医活動を推進する。

また、健康経営サポート事業として、各種セミナー等を行うとともに、全国健康保険協会熊本支部と連携し、新規事業場における特定保健指導を実施する。

さらに、ICT を活用し、オンライン会議、遠隔面談やメール支援等により業務の効率化を図る。

9 精度管理

今年度も、当センターは、県民に対して質の高いがん検診を提供するため、外部評価機関による評価において、各評価で最上位の評価を目指し、精度管理の維持、向上に努める。

また、がん検診における精度管理のひとつとして、検診後の精密検査結果を把握し、その集計・統計から発見されるがんの数などを全国レベルと比較し、がん検診精度管理指標のひとつである「プロセス指標」の基準値を維持する。

さらに、発見されたがんについては、「発見がん個票」を作成し、がんのステージや組織分類等について、追跡調査を行い、関係市町村と連携し受診者の事後管理に努めることとする。

主な外部評価機関は以下のとおりである。

※評価：A(優)、B(良)、C(可)、D(不可)

全国労働衛生団体連合会	・ 臨床検査	(評価 A～D)
	・ 胸部 X 線検査	(評価 A～D)
	・ 胃部 X 線検査	(評価 A～D)
日本医師会	・ 臨床検査	(評価 A～D)
熊本県医師会	・ 臨床検査	(評価 A～D)
日本臨床衛生検査技師会	・ 臨床検査	(評価 A～D)
日本乳がん検診精度管理中央機構	・ 乳房 X 線画像	(評価 A～D)
結核予防会	・ 胸部 X 線画像	(評価 A～C)

10 普及啓発活動

経営理念である「健康で笑顔あふれる幸せな熊本の実現に貢献する」ため、普及啓発を行う。

また、公益財団法人結核予防会及び公益財団法人日本対がん協会の熊本県支部として普及啓発を行う。また、学会の後援や講演会等を通じ広く県民の健康づくりに寄与する。

令和3年度に実施する主な活動は以下のとおりである。

(1) 自主事業

地域保健研修会、産業保健セミナーの開催健康講話等の開催
ホームページ・各種情報紙等を利用した情報提供

(2) 支部事業

結核予防全国大会 熊本開催 令和4年2月(予定)
結核予防 複十字シール募金運動
結核予防・がん征圧街頭キャンペーン
リレー・フォー・ライフ2021くまもと
5月15日(土)・16日(日)開催予定

(3) 協力事業

ジャパン・マンモグラフィ・サンデー
(10月第3日曜に全国的に乳がん検診を実施)

11 受託事業

熊本県より受託した以下の事業を行う。

(1) コンソーシアム事務局事業

「オールくまもと」で地域の健康課題の見える化やその対応策を検討するため、令和2年8月に「人生100年くまもとコンソーシアム」が設立された。当該コンソーシアム事務局業務において、医療・健診等データ分析に基づく各地域の対応策の企画立案、事業評価や検証を行う。

また、公衆衛生に携わる保健・医療専門職の人材育成の強化に向けた検討と立案する。

(2) 全国がん登録事業

「がん登録等の推進に関する法律」に基づき、熊本県内の医療機関から提供されたがん罹患情報を整理し、国に設置されたデータベースに転送することにより全国のデータが国で一元管理され、国・都道府県等が行うがん対策の充実、医療機関への情報提供、統計等の公表、患者への相談支援等に活用される。

熊本県の全国がん登録は、登録精度基準（A 基準）を満たしており、今後も高い精度基準を保持するため県内の医療機関と連携を図り、熊本県のがん対策に寄与する。

1 2 研究・調査事業協力

国及び研究機関等が実施する研究・調査事業への協力を以下のとおり行う

- (1) 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
超音波検査による乳がん検診の有効性を検証する比較試験（J-START）
- (2) 独立行政法人 労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所
労働者放射線障害防止研究センター
東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究
- (3) 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
低線量CTによる肺がん検診の実用化を目指した無作為化比較試験
研究
- (4) 環境省 子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）

1.3 設備投資

設備投資について、保健事業の確実な遂行のため、各部署からの要望をふまえて、健診（検診）機器整備の必要性など総合的に検討し予算化した。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大で設備投資計画に影響を受けた為、今後の設備投資計画を再構築する。

また、資金取得については、原則自己資金とするが、流動資産の状況などを勘案し、リース取得も活用する。

[当期中の重要な設備投資]

		(税込)	
(1) 車両関連			
マンモグラフィ検診車	1台	53,500千円	自己資金
(2) 機器関連			
内視鏡検査装置	一式	42,000千円	リース
コンピュータ断層装置 (CT)	1台	22,000千円	リース
胸部 X 線発生装置	一式	6,050千円	自己資金
骨密度測定装置 (超音波)	2台	4,400千円	自己資金
細胞診自動染色装置	1台	4,070千円	自己資金
(3) 電算関連			
新健診システムハードウェア	一式	44,000千円	リース